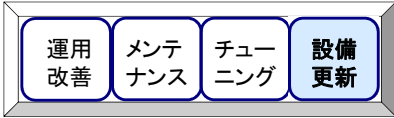


窓にブラインドを設置する



- ガラス窓にブラインドを設置するとエアコンの冷房負荷が抑えられ節電になります。
(日射に伴う屋内への侵入熱を低減できるためエアコンの負荷が下がります)

試算例

南～南西側、窓面積100m²に対してブラインドを設置すると...

- 節電効果：**節電効果 2万円(夏季)** 【業務用電力単価を適用】
節電電力 約 3.3kW
節電電力量 約 1,200kWh

- 対策内容： ガラス窓へのブラインドの設置

- 計算式： 節電電力(kW) = 流入熱量 × (1 - ブラインド遮蔽係数) × 窓面積 ÷ 空調機COP

$$\text{節電電力量(kWh)} = \text{節電電力} \times \text{対象時間} \times \text{対象日数}$$

(試算条件)

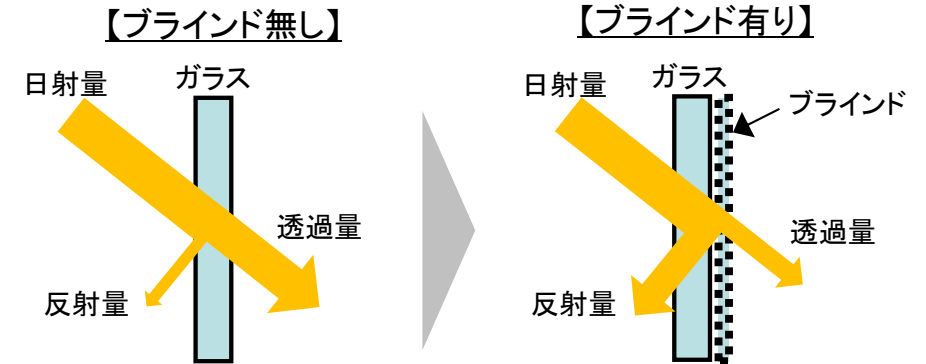
- 窓面積: 100m² (仮定)
- ブラインド遮蔽係数: 0.6 (仮定)
- ガラス窓からの流入熱量(東～南～西側): 0.25kW/m² (仮定)
- 空調機COP: 3.0 (仮定)
- 対象時間: 6時間/日 (冷房の負荷低減に有効な時間)
- 対象日数: 60日/年

ポイント

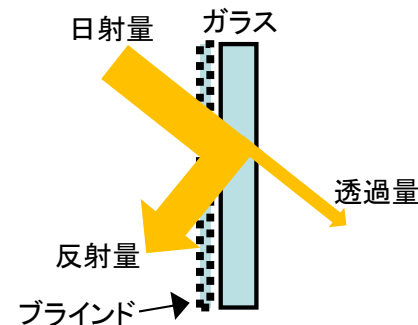
- 隙間を抑えた高遮蔽タイプや調光機能のあるブラインド・スクリーンの普及が進んでいます。
- 窓の外側に設置する際は、耐風強度を確認し、風で飛ばされないよう確実に固定する必要があります。

参考

ブラインドを設置することで、日射反射率を高め、建物内部への日射透過量を減少させます。これにより、室内の温度上昇を抑制し、エアコンの冷房負荷を低減できます。



【窓の外側にブラインド有り】



窓の外側にブラインドを設置することで、より高い効果が期待できます。